

ふくろうの会通信

東野幌小学校PTA

NO 6

H29. 8. 23

文責 ふくろうの会

会長 長谷川 伸

校長 高橋 秀明

2期のスタートについて

夏休みが明けて8月18日（金）から、いよいよ前期のまとめとなる2期がスタートしました。

登校初日は、地域自治会の方々や、安全指導日での保護者の方々の見守り活動により、全児童が全員揃っての登校となりました。

これからは暑かった夏の日差しも和らぎ、季節的には過ごしやすくなっていく時期を迎えますが、気を付けていかなければならないのが、日照時間が短くなっていくことです。子どもたちが下校する時間帯は、それほど影響はありませんが、習い事や、帰宅後のお出かけで帰ってくる時間帯には、薄暗くなっていくことが心配されます。車を運転する側からも、子どもたちの存在が気付きづらくなっていくため、事故などに巻き込まれる危険性が高まってきます。

登下校において、今まで以上に注意を払っていくように、指導にあたっていきたいと思っておりますが、1期と同様に各自治会、御家庭と連携を図る中で、強化に努めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



宿題を手に、2期のスタートとなった登校の様子

夏休み中の夜間パトロールと、前後の見守り活動の実施について

夏休み期間中に各自治会で夜間パトロールを実施して頂いていますが、昨年に続き、今年も親父の会を中心とするボランティアの方のご協力により、合同での夜間パトロールを実施することができました。

期間中の取組状況については、東野幌小学校のブログサイト (<http://blog.webone.ne.jp/higasinos/>) で、も紹介させて頂きましたが、9回の計画が立てられ、9日（水）の日が雨のため1回だけ中止になりましたが、それ以外は天候にも恵まれ、予定通り夜間巡視を実施することができました。今回、参加頂いたボランティアのお父さんの延べ人数は、当初の計画では29名だったのが、自主的な参加の追加があり、嬉しいことに36名と増える形となりました。立ち上げた取組を絶やさないようにと、高い意識を持って参加頂いたお父さん達には、本当に感謝です。

夜間パトロールを通して感じたことは、自治会を中心とする日常的な保全強化により、この東野幌小学校を中心とする地域は、落ち着いた環境が整えられており、不審者や夜遊びする若者が見られない地域になっていること。私たちが気づかないところで、地道な活動が展開されており、そういった活動に支えられながら安心・安全が保たれ、喜らすことができていると痛感させられました。反面で、各自治会の役員の方々が、電気のない危険な箇所を見回って頂いている現実に、甘えてばかりはられないことや、誰かがやってくれると人任せになってしまうと、直ぐに環境の悪化は進む危険性があることを忘れてはならないことを意識させられました。今後も、各自治会と連携をとり、協力しながら色々な取組を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



夏休み期間中、自治会と合同で行われた夜間巡視の様子

また、今年初めての取組として、夏休み前後の子どもたちの様子を見て頂く、見守り活動を実施させて頂きましたが、ことらの取組に対しても、ボランティアのご協力が有り、予定通りに3日間（7月24日、8月21日、22日）の取組を実施することができました。

急速に成長するこの時期の子どもたちは、心も体も不安定な時期にあります。大きな環境の変化があるときに、その影響が顕著に現れると言われます。長期の休み明けには、登校しぶりや、深刻な問題として自殺なども年間の中で一番多く見られる時期ともいわれています。長期の休みで、生活のリズムなどを崩している子もいると思われまますので、こちらも連携を図りながら進めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



- 早退時、下校時のお迎えについては、部外者との見分けができるように、配付してあるネームプレートを必ず御着用してください。
- 次回のふくろうの日は8月28日（月）です。担当は、4年生になっていきますので、CS安全担当を中心によりよろしくお願いいたします。